

年末年始の交通事故防止運動が始まります

12月10日(土)から平成24年1月10日(火)まで、「年末年始マナーアップで事故防止」をスローガンに年末年始の交通事故防止運動が実施されます。

鹿屋地区では、秋から交通事故が多発しており、11月には死亡事故が発生するなど、危機的状況にあります。

また、年末年始においては例年、夕暮れ時・夜間に交通事故が多発する傾向にあり、忘年会・新年会等、飲酒の機会も多くなることから、飲酒に起因する事故が増加する時期でもあります。

次のことに注意して交通事故防止に努めましょう。

- 夜間歩行者は、反射材を身につけましょう。
- 運転者は早めにライトを点けましょう。
- 駐車するときは、バックで駐車しましょう。
- 飲酒運転は絶対にやめましょう。
- 交通ルールとマナーを守りましょう。

市内の交通事故件数

(1/1~10/31累計)

	平成23年度	平成22年度
事故件数	643件	717件
負傷者数	813人	909人
死亡者数(うち高齢者)	5人(2人)	5人(5人)

特定建設作業は届出書を提出しましょう

騒音規制法・振動規制法では、著しい騒音や振動を発生する作業を特定建設作業としており、特定建設作業を伴う建設工事等を実施する場合には、作業開始日の7日前までに作業実施届出書の提出が必要となります。

届出書は、市ホームページに掲載してありますので、必ず提出してください。

【問い合わせ】
市生活環境課(5階)
☎0994-31-1115

「ブックスタート」を行っています

現在、市立図書館では市保健相談センターで実施している7か月児健診時に、絵本を通して赤ちゃんの心触れ合う時間を持つことの大切さを両親に実感していただくため、絵本の読み聞かせの実演等を行っています。

ぜひ、絵本の読み聞かせを体験し、家庭での読み聞かせにお役立てください。

「緑の募金カレンダーバザー展」を開催

全国の企業や団体から寄贈されたカレンダーを販売し、その売上を「緑の募金」として、森林の整備や保全活動等に活用する「緑の募金カレンダーバザー展」を開催します。

日時 12月17日(土)~18日(日)
10時~17時
場所 市立図書館
【問い合わせ】
かごしまみどりの基金
☎0994-225-1426

ITに関する支援を行っています

かごしま産業支援センターでは、ホームページやネットショップを活用した新たな販路開拓を目指す企業を支援するため、専門家が常駐しITに関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。

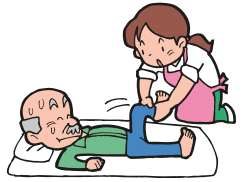
- 相談内容
 - ホームページの作成や更新方法
 - ネットショップでの集客や売上の向上
 - ホームページの制作業者の紹介 など
- 相談料 無料
- かごしま産業支援センター情報支援課
☎0994-219-1275

林業退職金共済制度についてご相談ください

林業に従事していた(いる)人で、退職金や共済に関する事などで、ご不明な点などご相談ください。

「第3回地域リハ研修会」を開催

日時 12月16日(金)
14時~16時
場所 市立図書館
【問い合わせ】
地域リハ広域支援センター
☎0994-40-8758



農商工連携『講演会』と『異業種交流会』を開催

豊富な農林水産物や製造業者等のノウハウ、近接する海外市場など、地域の強みを活用するとともに、大消費地との距離といった地域の課題を解決するためには、産業の枠組を超えた農商工等連携や産学連携、また、六次産業化等への取組が重要です。

農林漁業者と商工業者等が互いの強みを持ち寄り、「農・商・工」などの連携による新たな事業展開へつなげていただく契機として農商工連携「講演会」と「異業種交流会」を開催します。

- 日時 平成24年1月20日(金) 13:30~19:30
- 場所 ホテルさつき苑
- 対象者 企業・団体(農商工連携や六次産業化等に興味のある農林水産業、食・アグリ関連業、流通業、ものづくり企業、建設業者など)、個人、求職者、関係機関など
- 定員 150人
- 参加費 無料

※交流会参加者は、4,000円必要です。
※事前の申し込みが必要です。講演会、取組事例発表のうち一部分のみの参加もできます。
※申込方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



- 内容
 - 【第一部・講演会】 13:30~15:30
 - 講演 演題 「地域資源を活用したブランド戦略と地域活性化」~農商工連携のすすめ~
講師 田中 章雄 氏 (㈱ブランド総合研究所 代表取締役社長)
 - 【第二部・異業種交流会】 15:30~19:30
 - 取組事例発表 15:30~17:30 ~企業による農業参入の取組事例~
下田 政寿 氏 (共栄精密熊本㈱ 代表取締役社長) ~地域資源を活用した市内企業の取組事例~
尾曲 修二 氏 (アネット㈱ 代表取締役会長)
鶴瀬 芳昭 氏 (㈱芳恵丸 統括責任者) ~農産物の産地化に向けた鹿屋市の取組~
休坂 英幸 氏 (かのや紅はるか産地力向上研究会)
西尾 仁一 氏 (かのや茶産地力向上研究会)
 - 交流会 17:45~19:30
情報交換・交流会



▲田中 章雄 氏

【問い合わせ・申込先】 市企業支援課(市産業支援センター内) ☎0994-40-7890

母子寡婦福祉資金の貸付を行っています

県では、母子・寡婦家庭のお子さんの高校、大学、短大、専修学校などへの進学に必要な費用について、無利子で貸付を行っています。

●資金の種類と貸付限度額

- ①修学資金
内容=修学に必要な授業料、教材費、寮費、通学費などに充てる費用
貸付限度額=18,000円~64,000円(月額)
 - ②就学支度資金
内容=入学時に必要な入学金などに充てる費用
貸付限度額=39,500円~590,000円
- ※学校の種類、公・私立の別、自宅・自宅外通学の別により貸付限度額が異なります。
※借入申込から振込までは、1~2か月かかります。

●返済期間

- 学校を卒業した6か月後から返済開始
 - ①修学資金=貸付を受けた期間の3倍以内(専修学校一般課程の場合は5年以内)
 - ②就学支度資金=7年以内(専修学校一般課程及び修業施設の場合は5年以内)
- ※対象者や申請要件など詳しくは、お問い合わせください。



【問い合わせ】 市子育て支援課(1階18番窓口) ☎0994-31-1134